

# 香り、色、味わい、すべてが濃厚！「せとか」



## 1. 果実の出荷時期と特長

出荷時期	1月下旬から3月下旬まで（2月まではハウス栽培、3月からは露地栽培）
特長	「清見 <sup>きよみ</sup> 」に、高糖度系品種の「アンコール」、「マーコット」が重ねて交配されたことで、香り、色、味わい、すべてがギュッと濃縮されています。
備考	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構が育成した新品種で、愛媛県は日本一の「せとか」の産地です（平成20年産）。大きくつややかな外観の施設栽培せとかは2月上旬から、やや小玉ですがコクが深い露地栽培せとかは3月上旬から、それぞれ出荷されます。

## 2. 果実の食べやすさ

果皮	①：手で簡単にむけます。 ②：手でむけますが、ややむきにくいこともあります。 ③：手でむくのが大変です。ナイフなどをご利用下さい。
袋	①：薄く、食べてもほとんど気になりません。 ②：やや薄く、袋ごと食べることができます。 ③：厚く、口に残ります。袋をむいてお召し上がり下さい。
種	①：ありません（まれに少量あることもあります）。 ②：あります。

## 3. 来歴

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構が育成した、<sup>くちのつ</sup>口之津37号（♀）とタンゴール「マーコット」（♂）の交雑品種であり、2001年10月に種苗法の登録を受けました。

3世代系譜図（は父親（♂）、は母親（♀）、英語表記は外国産）

